

## 聴覚・発話チェックリスト

(あなたの赤ちゃんの聴覚をモニターするのに活用してください)

### 出生から生後3か月まで

- 聞きなれた声や音に引き付けられる
- 急に大きな音を聞くと驚いたり、勢いよく体を動かしたりする

### 3-6か月

- 興味を持った音の聞こえる方に目や頭を向ける
- 聞いているように見える
- 音がするとすぐ目を覚ます
- 発話のような音声を発し始める

### 6-12か月

- 「ダメ」や「バイバイ」といった簡単な言葉を理解する
- 発話を真似し始める
- 小さな音に顔を向ける

### 12-18か月

- 週を追うごとに、より多くの言葉を理解しているように見える
- 質問されると、人や体の一部や玩具を指す
- 「座って」などの簡単な話し言葉による指示に従う
- 意味のある単語を2-3語発する。例「ボール」「犬」「車」

## 私の赤ちゃんの聴覚検査予約

聴覚検査チームは、赤ちゃんの聴覚は生後12カ月になる前に検査した方がよいと考えており、検査予約のための連絡をします。

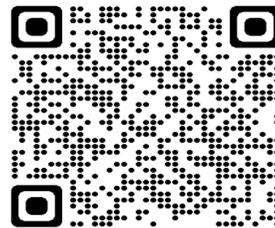
### 予約した診察に行けなくなった場合はどうしたらよいでしょうか？

予約した診察に行けなくなった場合は、予約日前にできるだけ早く担当の言語聴覚士に連絡し、予約を取り直してください。

### 引っ越す場合はどうなりますか？

他の町や市に転居する場合は、担当の聴覚検査サービスにご連絡ください。転居先の近所にある聴覚検査サービスをお知らせします。

健康聴覚プログラムについての詳細は、以下のQRコードを読み取りアクセスしてください。

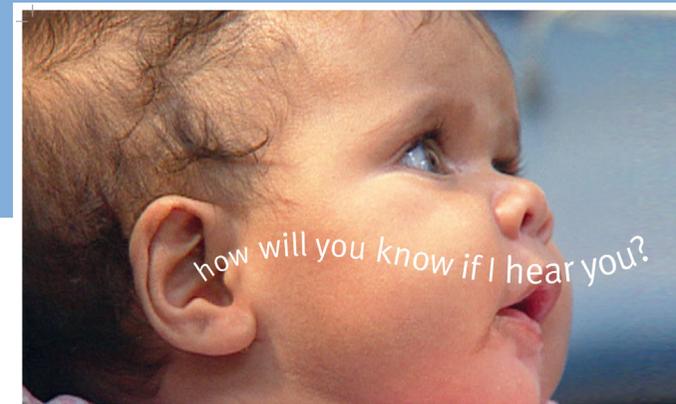


連絡先や住所が変わった場合は、聴覚検査サービスにご連絡ください。予約について担当者が追ってご連絡します。

赤ちゃんが1歳になるまでに聴覚検査チームから連絡がない場合は、担当の聴覚検査サービスに連絡して診察を予約してください。

## Healthy Hearing Program

### 健康聴覚プログラム



## Your Baby's Follow-Up Hearing Check

### あなたの赤ちゃんのフォローアップ聴覚検査

子供の聴覚は時とともに変わります。

このパンフレットでは、赤ちゃんによっては1歳の誕生日までに、特定された危険因子によってはさらに早い生後6週で、聴覚を再度検査することが大切な理由を説明しています。



Queensland  
Government

聴覚は何歳でも検査可能です。現在、言語聴覚士に紹介されていない状態で、あなたの赤ちゃんの聴覚が心配な場合は、かかりつけの医師から紹介状をもらって聴覚を調べてもらいましょう。

# 健康な聴覚は、生まれた直後から、お子様の発話と言語の発達にとって非常に重要です

## 私の赤ちゃんは、新生児聴覚スクリーニングにパスしました。なぜもう一度検査が必要なのですか？

あなたの赤ちゃんは、成長とともに難聴を発症する可能性が高まる恐れがある危険因子を1つ以上持っています。

あなたの赤ちゃんが次の危険因子のどれかを持っている場合、新生児聴覚スクリーニング後6週間以内に聴覚精密検査を受けることができます。

- 難聴と関連のある症候群
- 頭部または顔面の構造的な問題(例:口蓋裂)

あなたの赤ちゃんが次の危険因子を1つ以上持っている場合、**1歳の誕生日までに聴覚スクリーニングを受けることができます。**

- 永続的な難聴の家族歴。両親またはきょうだいが、子供の時から難聴を持っていたということを意味します
- 妊娠中または出産時の、ある特定の感染症への暴露
- 出産時における重度の呼吸困難

これらの危険因子を持つ赤ちゃんのうち、実際に難聴になるのはごく少数ですが、聴覚検査チームに上記のフォローアップ検査をしてもらうことは重要です。

## 私の赤ちゃんは音に反応しているようです。それでもフォローアップ検査が必要でしょうか？

難聴を持つ赤ちゃんの多くは、音によっては聞こえたり、反応したりします。したがって、適切な検査なしでは難聴を特定することはできません。

難聴を早期に発見することによって、あなたの赤ちゃんは発話と言語の発達に向けた最高のチャンスを得ることができます。このチャンスを得ることは、お子様の将来の学習、社会面および感情面での幸せにとって大切なことです。

## 聴覚検査の時、どんなことをしますか？

聴覚検査チームが検査を数種行い、赤ちゃんの聴覚系の各部を調べます。各検査とその結果は、診察時に説明します。

検査を受けることで、お子様の聴覚が発話と言語の発達に十分かどうか、もしくは難聴があるかを確認できます。



検査の結果が出るまでに、赤ちゃんには1、2回の診察が必要になります。

## 聴覚検査チームには以下のメンバーがいます。

言語聴覚士: 詳しい聴覚検査をする技術と設備を持つ、聴覚の専門家です。

コメディカルスタッフまたは聴覚検査アシスタント: 聴覚検査を行うための訓練を受けた医療従事者です。

## 聴覚検査の費用はいくらですか？

メディケアの対象となっている赤ちゃんは、出生場所が公立病院か私立病院かに関わらず、公的な聴覚検査サービスを無料で利用できます。メディケアの対象となっていない赤ちゃんには費用がかかることがあります。

民間の言語聴覚士に診てもらう場合は、予約前に費用について相談しましょう。

お住まいの地域の聴覚検査サービスの詳細については、検査担当者のご案内します。

## 私の赤ちゃんに難聴があったらどうなりますか？

あなたの赤ちゃんに一過性の難聴がある場合、担当の聴覚検査チームに再度診てもらう必要があります。一過性の難聴が改善しない場合、聴覚検査チームにより、耳鼻咽喉科(ENT)の専門医に診てもらうことが勧められます。

あなたの赤ちゃんに永続的な難聴がある場合、担当の言語聴覚士により、下記の一部またはすべての専門家へ紹介されます。

- 小児聴覚クリニック
- 耳鼻咽喉科専門医
- 小児科医
- ヒアリング・オーストラリア(Hearing Australia)、補聴器調整のため
- 健康聴覚ファミリー・サポート(HHFS)
- その他必要に応じた専門家によるサービス

上記のサービスを利用するにあたり、HHFSがサポートを提供します。

あなたの赤ちゃんの聴覚について心配なことがあれば、担当の聴覚検査チームに連絡し、早い時期に予約を取ることができます。